

## 2 産業連関表からみた富山県経済の構造

### (1) 総供給と生産額

平成 12 年の県内生産額と移輸入を合わせた総供給は 11 兆 7,506 億円で、そのうち県内生産額は 8 兆 7,141 億円（74.2%）である。  
また、総供給は、平成 7 年と比べ 1.4%の増となった。

平成 12 年の 1 年間に、県内で生産された財・サービスの総額（県内生産額）は 8 兆 7,141 億で、生産額に移輸入を合わせた総供給は 11 兆 7,506 億円となった。

一方、需要面からみると、総需要（総供給に等しい）のうち県外からの需要（移輸出）が 3 兆 2,962 億円、県内需要（総需要 - 移輸出）が 8 兆 4,544 億円となった。

平成 7 年との比較では、総供給は 1.4%増、県内生産額は 0.6%減、移輸入は 7.7%増となっている。

図 1 総供給（県内生産額・移輸入）

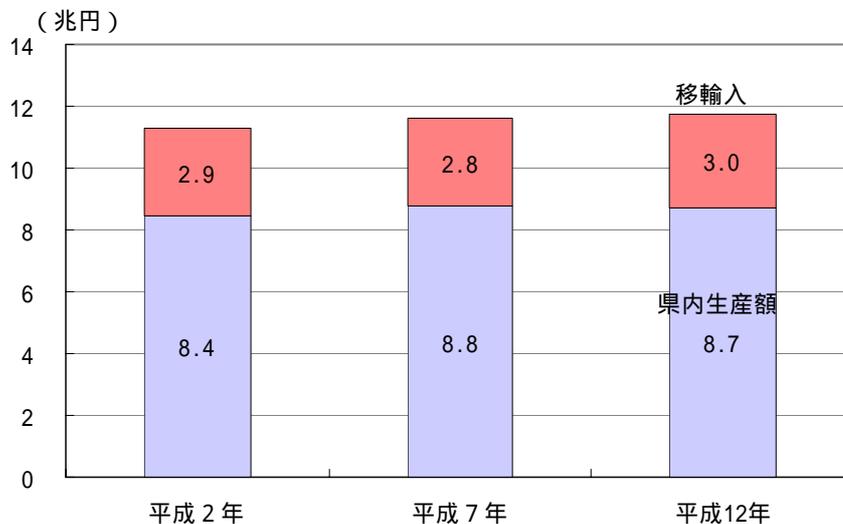


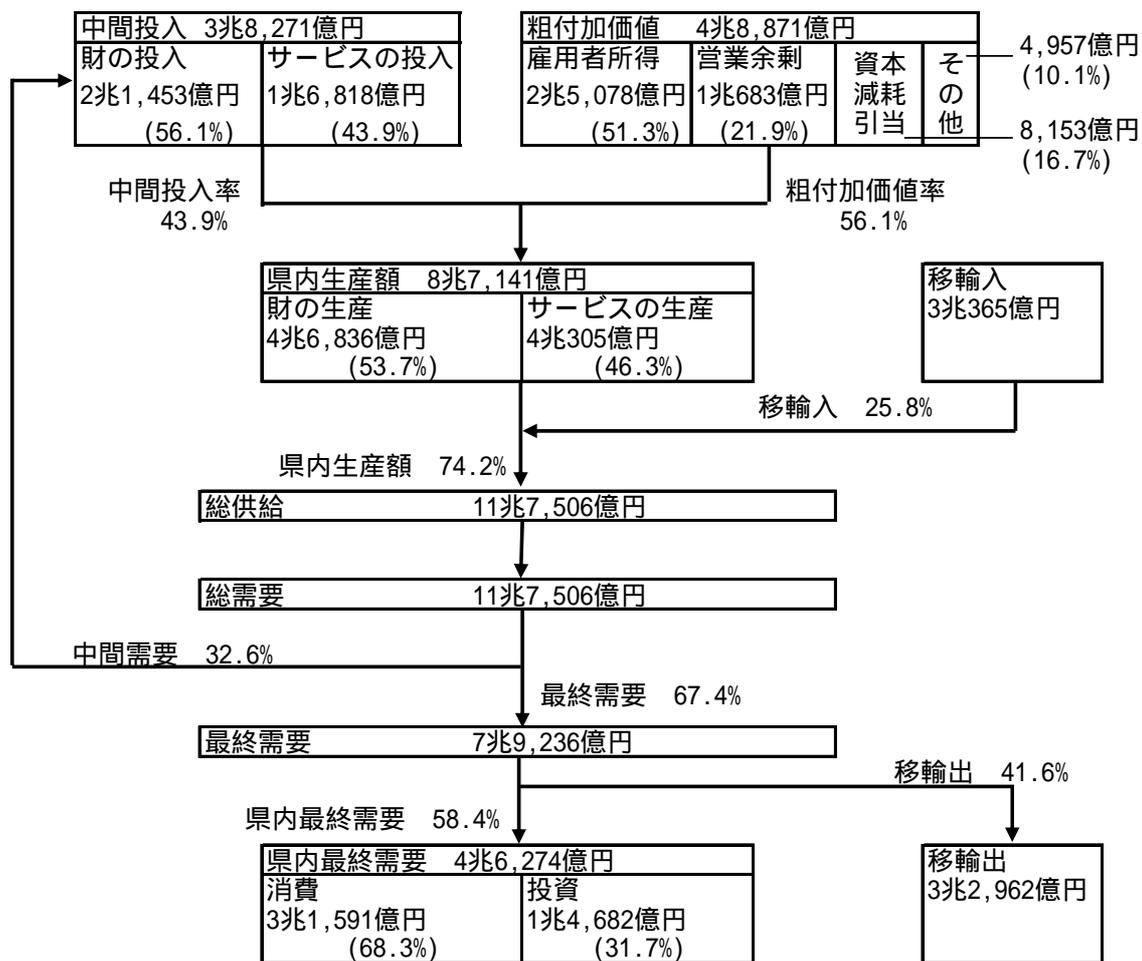
表 1 総供給の構成と伸び

(単位：100万円、%)

	金額			構成比			伸び率	
	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	2 ~ 7	7 ~ 12
県内総供給	11,300,013	11,583,798	11,750,644	100.0	100.0	100.0	2.5	1.4
県内生産額	8,426,438	8,763,491	8,714,139	74.6	75.7	74.2	4.0	-0.6
移輸入	2,873,575	2,820,307	3,036,505	25.4	24.3	25.8	-1.9	7.7
国内生産額	872,212,205	937,100,631	958,886,460	-	-	-	7.4	2.3

国内生産額：総務省など10省庁が作成した「平成12年（2000年）産業連関表」より

平成12年産業連関表から見た財・サービスの流れ



- 1 32部門表による。「財」は01～18、31の合計、「サービス」は19～30、32の合計である。
- 2 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計とは一致しない。
- 3 ここで、「消費」とは、家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出をいい、「投資」とは、県内総固定資本形成及び在庫純増をいう。

県内生産額

県内に所在する事業所の生産活動によって生み出された財貨・サービスの生産額をいい、財貨・サービスの各品目ごとに推計され、各統合部門、産業部門別に集計されている。

品目には完成品のみならずその原材料も含まれているので、生産額にはその原材料の部分が重複している。例えば、家具、住宅建設などの生産額には原材料としての木材の費用が含まれ、一方、木材産業にはその木材の生産額が計上されている。